

第1回 旭川流域委員会準備会（議事録要旨）

事務局より準備会趣旨、スケジュール、運用規定など準備会の進め方について説明するとともに構成メンバーを紹介。また、事務局より議長として名合教授（岡山大学環境理工学部）を推薦し、委員の了解を得た。議事録要旨は以下のとおり。

（ 1 / 2 ）

委員の発言内容	事務局等による説明・コメント等
<p>（河川法の改正について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備会では整備計画の原案については審議しないのか。 ・整備計画と基本方針との関わりあい。 ・流域委員会では、整備計画に先行して策定される基本方針の話は出るのか。 ・基本方針、整備計画の原案は11月に出てくるのか。 ・事業実施に直接関わってくる整備計画の見直しは、5年に1回ぐらいとの理解で良いか。 ・基本方針の概略の方向性は。 ・基本方針及び整備計画を考える時間的スケールはどう考えるか。基本方針は拘束の小さい将来目標、整備計画は現実的なコントロールをするとの理解で良いか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備計画の原案については河川管理者の方で準備予定であり、準備会では審議しない。 ・基本方針は平成15年7月ぐらいに、整備計画はその後半年ぐらいでの策定を目指して並行して進めていく。 ・中身がこれですという形の提示は難しいが、関連資料、質疑応答の中で整備計画に関連する項目の説明は必要と思われる。 ・現況の課題等から順次出せればと考えている。 ・特に決められたものはない。必要があれば同様な流れで見直すこととなる。 ・策定例が少ない。基本方針の中に環境面で岡山らしさを出せればと考えている。また、方向性については検討中であるが、基本的な部分は工事実施基本計画と同様になると思われる。 ・基本方針は、長期的に目指すべきゴール、整備計画は、20～30年の事業を行う上でのタイムサイクルとして考えている。
<p>（流域委員会の運営について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備会で決めることは。 ・運営要領（案）の非公開の対象について、動物も入れてほしい。 ・整備計画策定後に新たな計画が生じた場合、改めて流域委員会が開かれるか、継続して対応するのか。 ・流域委員会の対象は。砂川は対象となるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備会は、委員の選定、公開方法、規約の骨子や運営方針など、流域委員会へ提言して頂ければと考えている。 ・要領へ直接反映しにくいですが、運用上配慮していくこととする。 ・委員の任期は2年であり、整備計画を見直すときには同じプロセスをとることとなる。また、必要に応じて規約を改正するという方法もある。 ・旭川流域委員会としては、直轄管理区間のみを対象としている。砂川については整備後は県管理区間となるため、対象外である。
<p>（旭川の現状について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭川の現状の説明について、事務局の考え方は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員が増えた時の情報の公平性等もあり、詳細な説明や審議はその時にさせていただきます。

委員の発言内容	事務局等による説明・コメント等
<p>(委員の選定について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流域委員会委員の選定にあたり、何か留意事項があるか。 ・自治体の専門家、水道局等公的な機関の方はどうするか。 ・事務局提案の関係水利というのは、農業や他の用水なども含まれているのか。 ・水利組合や土地改良区などはどうするのか。 ・全体の委員枠はどれくらいか。 ・公募のエリアは限られるのか。 ・公募以外の委員については、公募をかける時点で準備会で決めるのか。また、団体などからの選び方の基準など何かあるか。 ・是非、子どもを入れて欲しい、将来宝になる。 ・委員選定でも環境面で特色が出せないか。ハザ - ドマップとの関連で防災関係の方が入ったらどうか。また、上流の森林、海の漁業関係の方なども良いと思う。 ・教育・環境・街づくりの分野も良いのでは。また、家庭排水など女性の方も良いと思う。 ・旭川には岡山城や後楽園もあり、観光の部門の方も良いと思う。 ・歴史分野・文化財、考古学・古環境の方も良いと思う。また、沿川のみでなく上道や賞田など周辺地域の方々も良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備計画をつくる際に意見を伺いたい必須分野として、文化財、環境、水道(水質) 関係水利(農業水利) 関係漁協の方などは入れて頂きたい。また、プラスとしてどういう分野の方々が良いか意見を聞きたい。 ・自治体関係についてはオブザ - バ - として議論を聞いて頂き、場合によっては発言して頂くと言う立場を考えている。公的な機関は行政に属する研究機関の方などを考えている。 ・関係水利とは農業のことであり、農業関係として農水省から紹介頂いた岡山大学の長堀金造名誉教授に入って頂けたらと考えている。 ・委員の総意で必要であれば、入って頂いて良い。 ・特に決められたものはなく、他事例も参考に準備会での審議により決めていただきたい。 ・直轄管理区間としては岡山市内であり、公募は岡山市在住(勤務を含む)ぐらいを対象として、他のエリアの人は必要に応じて意見を聞くこととしたい。 ・委員の候補や選定方法も含めて特に決められたものはなく、準備会での審議により決めていただきたい。 ・公募については、自薦・他薦も含め、応募理由、自己アピール、略歴、志望動機などいろいろ書いて頂いた方が選定の参考になると思う。媒体はホ - ムペ - ジ、新聞広告、市の広報なども良いと思う。 ・タウン情報誌なども有効だと思う。 ・総合学習など授業の一環として、小学生に傍聴してもらうなどの方法もある。 ・開催日時や開催場所など、可能な限り多くの関係住民が傍聴できるような配慮は必要と思われる。 ・委員候補については、各委員や事務局からの推薦や公募方法などをとりまとめ、次回の準備会で提案し、3回目の準備会で委員を決定したい。 ・審議の結果に基づき、事務局として整理の上、第2回の準備会を経て公募は5月～7月の間には行いたい。